

研究室 からの メッセージ

所在地 〒283-8555
千葉県東金市求名1番地

スタッフ 鈴木明子(教授)、大橋優紀子(教授)、
丸山あかね(助教)、石田ゆかり(助教)、
佐藤愛(助教)、
小川ひろ子(実習非常勤助手)

URL <https://www.jiu.ac.jp/>



前列左から大橋、鈴木、後列左から石田、佐藤、小川、丸山

城西国際大学 看護学部看護学科

地域・在宅看護学

History and Now

どのような機関なのでしょう？

城西国際大学は、1992(平成4)年に学校法人城西大学の建学の精神「学問による人間形成」を継承し、「国際社会で生きる人間としての人格形成」を独自の教育理念に掲げ、千葉県東金市に開学しました。2012(平成24)年に地域の要請により看護学部看護学科を開設しました(1学年定員100名、保健師課程は選択40名)。34日間の海外研修プログラムにより国際的視野を持って公衆衛生を学べるなどグローバル教育に力を入れています。

Education

どのような教育をしていますか？

当研究室の学部組織上の位置付けは、大講座制→地域包括ケア領域→現在は地域・在宅看護学領域と変遷していますが、開設以来一貫して公衆衛生は看護師においてジェネラルな知識という立場で、公衆衛生看護学と在宅看護学の双方の学問領域を担当しています。看護師課程の中では、地域包括支援センターにおける実習(1単位)に加えて、2022年の新カリキュラムから、地域社会のニーズに沿った地区活動に参加して地域を知る実習(1単位)を取り入れました。また、1、2年次のゼミ活動の中で、東金市高齢者サロンを立ち上げてその活動を継続しており、地域とつながる地域基盤型教育を実践しています。

保健師課程では、行政・学校・産業の3分野において、千葉県内のさまざまな施設の協力のもと実習を行ってきました。本学の学生は、病院奨学金を受けている割合が高く、卒業後すぐ保健師になるわけではありませんが、自分のキャリアの1つとして保健師を志向する者は多く、少しずつ保健師になる卒業生が増えている状況です。

Research

どのような研究をしていますか？

教員は、ここに至るまでのさまざまな実務経験を活かしたそれぞれの研究テーマと専門性を持っています。ボンディング形成に着目した妊娠期からの子育て支援モデル構築、医療費分析アプリケーションの構築と検証、中途障害児と家族への支援、地域づくり・まちづくり、HIV陽性者の地域での療養体制の構築など、地域看護の多様な対象への研究とそれを反映させた教育で構成されている点が本学の強みとなります。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

千葉県内で保健師養成に関わる看護系大学等の関係者が千葉県公衆衛生看護学教育連絡会議を組織し、千葉県保健活動業務研究サポートという形で支援を行っています。本学もそのメンバーとして、近隣市町村の要請に応じています。また、東金市の新型コロナワクチン接種の支援も行っています。

ひとこと

2023(令和5)年4月に大学院健康科学研究科を開設予定です。平日6限(19:10開始)と土曜日や夏休み・冬休みを利用した授業、オンラインのオンデマンド授業や双方向授業なども活用した社会人に配慮した学びの環境を整えています。職業実践力育成プログラム認定制度による学費の補助も受けられる予定です。

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場して下さる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介ください。

応募方法 ● 電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ● 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp